



年頭のごあいさつ

幌延町長 野々村 仁

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、
健康やかに平成三十一年の新春をお
迎えることと心よりお慶び申し上
げます。

また、日頃より町政運営に対し
ましてご理解ご協力を賜り、深く
感謝申し上げます。

この度、町長として引き続き、
二期目の町政運営の重責を担わせ
ていただくことになりました。
今日の地方を取り巻く環境は、
人口減少や公共施設等の老朽化な
ど依然として厳しい状況でありま
すが、これまでの貴重な経験を生
かし、新たな決意と情熱をもって
「共に支え合い 笑顔あふれる幌
延町」を創るべく専心努力してま

いりますので、今後とも一層のご
理解とご協力をよろしく願ひい
たします。

昨年を振り返りますと、やはり
災害のことが一番強く印象に残っ
ております。

九月に発生した北海道胆振東部
地震は、これまで北海道では経験
したことのない大地震となり、厚
真町やその近隣市町村で甚大な被
害を受けました。また、地震の影
響で、道内全域が停電となるブラ
ックアウトも発生しました。

本町においては、幸いにも地震
による直接的な被害はありません
でしたが、農家や商工業の方など
は停電の影響により大きな被害を
受けてしまいました。

町といたしましては、今後の災

害に備えるため、今回の経験を踏
まえ、一層の防災対策に取り組ん
でまいります。市民の皆さまにお
かれましては、自助の備えが大切
でありますので、日頃から安全・
減災対策に努めるよう、よろしく
お願いいたします。

その一方で、昨年は大変喜ばし
いこともございました。

平成二十七年度より可能性調査
を進めておりました幌延町におけ
る家畜ふん尿バイオオマスの活用
等を「幌延町バイオオマス産業都市
構想」としてまとめ、国へ提出し
ましたところ、十月二十三日に本
町がバイオオマス産業都市として認
定されました。今後、本構想の具
体化に向け、検討委員会を設置し、
引き続き、関係機関との協議・情

報共有を図りながら幌延モデルの
構築を進めてまいります。

平成三十一年につきましても、
人口減少や少子高齢化、町の産業
構造や生活環境の変化など、様々
な課題に取り組んでいかなければ
なりません。幌延町民皆さまの英
知と行動力を結集し、「みんなの
力で 夢を育む街（ほろのべ）を
!!」をスローガンに、幌延町の未
来に向けた「しごとづくり、人づ
くり、まちづくり」を精力的に進
めてまいりますので、温かいご支
援とご協力をお願いいたします。

結びに、平成三十一年が幌延町
と町民皆さまにとって、最良の年
となりますよう心からお祈り申し
上げ、新年のごあいさつといたし
ます。

平成三十一年元旦

